

市民参加でまちを変えよう！



No.
9

杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会会報

2011年10月15日

発行

向日市寺戸町辰巳4-1

101号室 杉谷ひろば

10月8日、市民会館で「杉谷伸夫の議会報告会」を開催し、報告の後、市民のみなさんと質疑交流しました。



「杉谷伸夫の議会報告会」
を開催しました(10/8)

9月議会報告特集

(注) 本報告会での報告内容は、すべて向日市議会議員・杉谷伸夫の個人報告であり、向日市議会としての公式見解ではありません。報告内容に関する責任は、すべて杉谷伸夫議員個人にあります。

向日市議会は、 いつ何をしているのか？ 9月の議会では、何をしたのか？

向日市議会は、向日市の条例・規則で年に4回(3月、6月、9月、12月)開催することが決められています。9月議会(2011年度第3回定例会)は8月31日～9月27日まで開かれました。

9月議会の仕事は、この1年、向日市が市民のためにどんな仕事をしたかの点検！

3月議会・・・市長から提案された新年度の予算案を審議し決定します。向日市が今後1年間にどの事業にいくらお金を使うかを決める

9月議会・・・前年度の決算を審議します。向日市が、市民のためにどんな仕事をしたのかをチェックし、改善すべき点を正すのです。

会員・市民の声

杉谷さんの初質問の日、傍聴しに市議会へ行きました。杉谷さんは張り切って沢山質問しましたが、市長はじめ皆が本を読んでもみたいな回答ばかりでした。だから回答に反論する時間を多くとった方がいいですね。(Y)

市民みんなが何らかの不満・意見を持っています。それをしっかり吸い上げるために、このような報告会は必要です。(Y)

報告会出席は初めてである。市議会の空気がよくわかった。今後も続けてほしい。北部地域の将来計画を知りたい。(F)

出席者との意見交換が有意義に思いました。大変良い報告会でした。(Y)

「9月議会で問題 になったこと」

①市長が公開拒否している 重要報告書が暴露された！ …下水道石田川2号幹線築造工事ト ラブルでの2億円の損害問題

向日市の下水道工事が、前田地下道下でH鋼材に当たって2億円の税金が追加支出された事件で、ずさんな調査を行った調査会社に対し市長が被った2億円の損害の負担を求めることを市長が放棄し、全額を市民負担としました。「調査会社の法的責任の追及は可能」という内容の顧問弁護士の中間報告書が存在したことが明らかとなりましたが、市長は「公文書でない」として公開を拒み続けています。

ところが、この「中間報告書」が飛鳥井佳子議員の手元に匿名で届けられ、議会最終日に暴露されました。これには、「本件は、向日市およびJRC（調査会社）が責任を分担することが妥当な事案」とし、「JRCに対して法的責任を追及することは可能」とはっきり書かれています。市長の説明責任が問われています。

※なお、この「報告書」のコピーは、他の市議会議員にも配布されました。

②北野台雨水貯留槽の漏水対策工事で第2期 工事5千万円…1期と合わせ合計1億4千 万円を市民負担させないことを巡って

北野台での宅地開発で造られ、向日市に引き渡された雨水貯留槽が欠陥で水漏れし、下流域で浸水被害が起こった問題で、現在第一期改修工事が行われていますが、追加の第二期工事が補正予算で提案されました。1期工事＝9千万円、2期工事＝5千万円は向日市が支出し、裁判で開発工事業者に損害賠償請求して取り返すとしています。向日市の過失責任も問われるため、全額は無理との見方が大勢です。相次ぐ雨

水下水道工事にかかわる問題で市民負担を発生させた原因と責任について、あいまいにはできません。また、この2期工事で本当に問題が解決するののかとの周辺住民の声もあります。

③新設の民間保育所は和歌山の「檸檬会」に決定。市は、第3保育所の閉園を議会に諮らず一方的に発表

森本町石田のJT社宅跡地（市民体育館の西側）に民間保育所建設のため、事業費補助として3750万円を補正予算で計上。但し、以下の懸念が出されました。

- (1) 向日市は民間保育所設立・運営法人として、和歌山県の社会福祉法人「檸檬会」と契約したが、なぜ地元の法人でなく、和歌山の法人なのか。
- (2) 民間保育所で、「保育の質」が維持向上することが前提条件とされているが、大丈夫なのか？
- (3) 民間保育所の開園と同時に、公立第3保育所を閉園するという方針を行政が表明し、すでに第3保育所の保護者・関係者に説明している。議会に諮られてもいないことを勝手に発表するのは問題だ。

④原発からの撤退を求める意見書採択

原発事故から市民を守るため、原発からの撤退を働きかけること、原子力防災計画の見直し、放射能から子どもを守るため給食食材の安全性確保などについて、多くの議員が取り上げて質問が行われましたが、向日市独自の施策予定は示されませんでした。

また、私も賛同者として名を連ねて提出された「原発からの撤退を求める意見書」が賛成多数で採択されました。

⑤北部開発が既存中心市街に与える影響 についての懸念

キリンビール跡地開発、洛西口東部地域の土地区画整理事業に多額が投入されているが、その結果についての心配が表明されました。

⑥向日町競輪場の存廃および跡地の利活用について、特別委員会で議論が始まりました。

杉谷伸夫が 取り上げた 問題とその結果

(1) 本会議での一般質問

5つのテーマについて質問をしました。結果的に欲張りすぎて、再質問の時間がほとんど無くなり、ありきたりの回答に対して追及することができませんでした。反省！

① JR向日町駅のエレベータ設置をはじめとした駅舎のバリアフリーを、市民に情報公開して進めることについて

→「年度内の予算要望に向けてJRが国交省と協議中の段階」として、以降の具体的な日程や事業費の見通しは一切示さなかった。結局市民への情報提供は、すべて決まった後の最後になる。

→「向日市バリアフリー基本構想」に基づき、多機能トイレ、階段の2段式てすりを検討中

② 市内巡回バスを早急に実現すること

阪急バスの路線廃止もあり、市民の足を早く確保することを求めました。

→「市内公共交通検討委員会の検討を基に、交通支援策を策定する」と従来の答弁の繰り返し。巡回バスか、それに替わる具体的な対案の提示を求めたが、回答なし。

③ 歩道や生活道路の計画的整備を進めるため、道路の維持補修費と独立した改良整備費の予算化をすること

→ 昨年度は国の臨時交付金1億3千万円を活用して、市道の改修整備対象22カ所を実施できたが、残り30カ所の実施見通しは立っていない。「本市の予算規模ではできる限り予算を確保している」との答弁だが市民感覚からすると？

④ 向日市の施設で使用する電力を、原子力発電に依存する関西電力以外の電気事業者から購入

すること。電力自由化により、向日市では市庁舎をはじめ19施設が自由に電力購入できる。その年間の電気代は約1億円なので、1割安くなれば1千万円費用削減できる。

→ 「費用面・環境面での課題を整理した上で、低廉でクリーンなエネルギーの調達が可能かよく検討する」と回答。実施を求めます。

⑤ 放射能から子どもを守るため、市内の放射能測定、学校給食の食材の放射能測定を実施し、公表すること

→ 食材については産地で検査され、暫定規制値を超えたものは出荷されない。「市場に流通している食品は安全だ」との答弁だが、安全なのではない。放射性物質が規制値以下であるというだけ。子どもには問題です！

(2) 総務常任委員会において

● 広報を全世帯に確実に配布すること

現在、新聞折込での配布が中心だが、若い人など新聞購読しない人には届かない。

→ シルバー人材センターで各戸配布する方向。

● 市民協働センターの見直しを！

市民協働センターは開設して2年半になるが、印刷作業以外あまり利用されていない。中途半端であり、ちゃんとしたものを造るべきと指摘したが、見直しは考えてないとの答弁。

● コミュニティ・センターで議会報告会を開催できるように！

→ 「政治的な目的には使用できない」との市の見解に対して、公明党・共産党議員からも、おかしいと反論があった。私も「コミセンも公民館もだめ、というなら市民代表である議員が、主権者である市民のみなさんに議会の報告をする場所がないではないか。行政による議会活動・議員活動への妨害だ」と反論。今後必ず実現可能なようにさせたい。

● 選挙公報の発行を一日でも早く！

向日市の選挙広報は、金曜日に配布されたが遅すぎる。理由は「新聞配達店に配達の日前に渡す必要があるから」との回答。しかし、水曜日に配布している市もあり、改善を求めました。

向日市議会 2011年9月定例会 各議案に対する各議員の態度一覧

※提案された議案は、すべて可決されました。 (○:賛成、×:反対、△:退席)

議案名	共産党					新政クラブ					公明党			市民クラブ		無党派				
	松山	常盤	丹野	北林	和田	山田	天野	新矢	小野	西川	永井	辻山	長尾	富安	石原	杉谷	飛鳥井	中村	磯野	太田
向日市税条例等の一部改正	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	△	△	○	○	×
下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	×	×	○	○	×
一般会計歳入歳出決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	につ	○	○	○	×	×	○	○	×
国民健康保険事業特別会計決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	採	○	○	○	×	×	○	○	○
後期高齢者医療特別会計決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	決	○	○	○	×	×	○	○	○
介護保険事業特別会計決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	に	○	○	○	×	×	○	○	○
下水道事業特別会計決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	加	○	○	○	×	×	○	○	×
水道事業会計決算	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	わ	○	○	○	×	×	○	○	○
原子力発電からの撤退を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	ら	×	×	×	○	○	×	○	○

●以下の議案は全会一致で可決されました

- ・向日市手数料条例の一部改正他条例の一部改正3件
- ・次の3つの特別会計補正予算…国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業
- ・老人保健医療特別会計決算
- ・寺戸財産区特別会計決算、物集女財産区特別会計決算
- ・向陽小学校北校舎改築請負契約の締結について
- ・学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書
- ・電力多消費型経済からの転換を求める意見書

11/12 市民参加のまち づくり例会

- 日時：11月12日（土）午前10時～12時
 - 場所：寺戸公民館（東向日イオン向い）1階中会議室
 - テーマ：向日市の道路の改善を考える
- ※11時頃～12時頃：バリアフリー探検隊
周辺道路と一緒に安全点検活動の予定
主催：市民参加でまちをつくる会

連載 ポイント解説 向日市の歴史

鈴木 健弘

第2回 乙訓の名の由来2

『乙訓郡誌』によると、葛野の一部が弟国で、墮川（おちかわ）神社があるから、桂川辺に墮川という土地があったということから、今の小畑川沿岸が古い乙訓だという説がある。『古事記』での古代乙訓（弟国）は井

之内村、今里村（もと乙訓村）から向日台地から西へ下った、ここはたしかに低く落ち込んだ場所である。滝ノ町という名がついているのもうなずける。タキ（滝）は高い所から低い所へ落ちることで、オチクニ（落ち国）の場所と一致し、“落ちた所”の意味のようである。

乙訓の村は、我が国の初期国家体制が固まりつつあった頃、オトクニ（弟国）と呼ばれ始めたものと思われ、それよりも大きい隣の丹波国（兄国～えくに）に対してのオトクニ（弟国）であった。丹波の兄に対しての弟であり、年若のまだ未熟の国という意味が含まれていたのではなかろうか。